

編集後記

プラ核の年会は秋の開催だが、春三月はいろいろな学会の季節である。他学会参加の上京ついでに大学時代の友人と再会し、居酒屋で一席設けて与太話に花を咲かせていた。その時の一幕を紹介しよう。

「ところで俺は商社の人間で、よくわからんのだが、例の理研の女の子、学位返上までなるのか?」「まだ、あれこれもめているから、彼女がクロともシロとも言えないが、仮にクロだとしても返上はあり得ないだろう。」「なぜそう言い切れる?」「博士の学位を出すささないは大学の教授会の決定事項で、例え申請者といえども一旦決定した学位を簡単に無効にはできない。むろん、彼女の学位を出したW大学の方から取り消し処分を行うことはできるが、その場合、一度は認めた教授会メンバー全員、特に学位論文の主査や副査の先生方の責任を問われなければならない。」「そうなのか?」「彼女が博士論文を出して、いったんは教授会で認めたという事実は絶対に消えない。ネイチャーの論文

撤回も同様に難しい。科学者が学術雑誌に論文を出す時には著作権譲渡という手続きをする。だから自分の論文であつても後からは自由にできない。もし、今回の騒動で注目を浴びたことを吉と判断するなら、ネイチャーは撤回を認めないだろう。大体、ネイチャーにそんなことする暇があれば、もっとまともな論文レフリーを雇って。論文に問題があるなら、始めに掲載不可とすべきだったんだ。」「お前、随分あの娘の肩をもつなあ。」「バカいえ。俺だって、昔、論文では随分嫌な目にあつたんだ。今回も、共著者連中の態度が一番気に入らん。未熟な行為と非難するならわからんでもないが、未熟な人物と個人バッシングするだけで、自分らの責任にはほおかむりしている。いい大学の先生が、彼女の仕事はわかりませんとテレビでしゃあしゃあと言うとはなさない。じゃあなんで共著になつたんだ?論文共著者として名前を連ねることの意味をもっとシリアスに……。」「わかった、わかった。今夜はとことん飲もう。」(松浦寛人)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	二宮 博正	副会長	斧 高一(推薦委員長:研究助成)	小森 彰夫(推薦委員長:学会賞)
常務理事	室賀 健夫(総務委員長)			
理 事	安藤 晃(企画委員長)	石原 修(研究部会連絡委員長)	上杉 喜彦(支部・地区研究連絡会委員長)	
	甲斐 俊也(財務委員長)	草間 義紀	佐々木浩一	
	清水 克祐	白神 宏之	白谷 正治(年会運営委員長)	
	豊田 浩孝	永津 雅章(広報委員長)	福山 淳	
	堀池 寛	米田 仁紀(編集委員長)		
監 事	市村 真	中澤 一郎		

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ:米田仁紀(電通大) 副委員長:豊田浩孝(名大)

エディタ:安藤 晃(東北大), 坂本瑞樹(筑波大), 中村祐司(京大), 長友英夫(阪大), 小西哲之(京大), 佐々木浩一(北大)

編集委員:石田 學(JAXA), 井 通暁(東大), 岩本晃史(核融合研), 内田儀一郎(阪大), 浦野 創(原子力機構), 大場恭子(東工大), 落合謙太郎(原子力機構), 笠田竜太(京大), 梶村好宏(明石高専), 糟谷直宏(九大), 佐々木 明(原子力機構), 柴田裕実(阪大), 清水一男(静岡大), 城崎知至(広島大), 鈴木達也(長岡技科大), 高橋和生(京都工繊大), 徳沢季彦(核融合研), 成嶋吉朗(核融合研), 長谷川 純(東工大), 長谷川裕記(核融合研), 林 信哉(九大), 菱沼良光(核融合研), 古川 勝(鳥取大), 増井博一(九工大), 松浦寛人(大阪府立大), 籾内俊毅(阪大), 山田英明(産総研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第90巻第5号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

印刷 株式会社荒川印刷

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

2014年(平成26年)5月25日

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。